



防府駅



日本土地家屋調査士会連合会定時総会



中国ブロック協議会定例総会



財産管理人支援センター研修会



県知事へ要望書を提出



# CONTENTS



No.129-2018

9

第71回定時総会の報告	総務部長	大來 博康	1
日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告	広報部理事	宮崎 敏幸	2
中国ブロック協議会定例総会の報告	広報部長	周原 稔	3
財産管理人支援センター研修会	財産管理人支援センター運営副委員長	山根 克彦	5
支部総会報告			
	岩国支部支部長	田村 直久	7
	周南支部広報協力委員	西田 泰則	8
	防府支部支部長	前田 祐史	9
	山口支部理事	大森 淳一	10
	萩支部支部長	岡村 匠	11
	宇部支部理事	末富 洋一	12
	下関支部副支部長	山崎 義文	13
支部だより			
岩国支部研修会報告	岩国支部支部長	田村 直久	14
	岩国支部理事	尾崎 友浩	16
山口支部研修会報告	山口支部企画委員	大森 淳一	17
宇部支部研修会報告	宇部支部企画委員	木下 修治	18
杭の日「無料相談会」報告	周南支部理事	西田 泰則	20
	防府支部企画委員	山根 良吾	21
	山口支部	原田 英樹	22
	宇部支部理事	末富 洋一	23
	下関支部理事	山崎 義文	24
山口法律関連士業ネットワーク定期大会報告	広報部理事	伊藤 正典	25
全国一斉不動産表示登記無料相談会報告	広報担当副会長	清水 浩二	26
事務所紹介	宇部支部	白石 龍二	27
	下関支部	福田 真也	29
会員の作るページ			
阿武町木与の清ヶ浜	萩支部	廣石 勝	31
事務局だより			
広報部からのお知らせ			

# 第71回定時総会の報告

総務部長 大來博康

第71回山口県土地家屋調査士会の定時総会が山口地方法務局局长をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、下記のとおり開催された。

1. 日時 平成30年5月19日（土）  
午後1時30分～午後6時
2. 場所 山口市湯田温泉三丁目5番8号  
「湯田温泉ユウベルホテル松政」
3. 出席者 182名（会員総数222名）  
本人出席 66名  
委任状出席 116名
4. 議案 第1号議案  
(1) 平成29年度一般会計収支  
決算報告承認の件  
(2) 平成29年度特別会計収支  
決算報告承認の件  
上記の監査報告  
第2号議案  
平成30年度事業計画（案）  
審議の件  
第3号議案

- (1) 平成30年度一般会計収支  
予算（案）審議の件
- (2) 平成30年度特別会計収支  
予算（案）審議の件

## 5. 議事

議長に山口支部の益田正規会員、副議長に萩支部の岡村匠会員が就任し、議事の進行を行った。

全ての議案は執行部の提案通りに承認可決された。

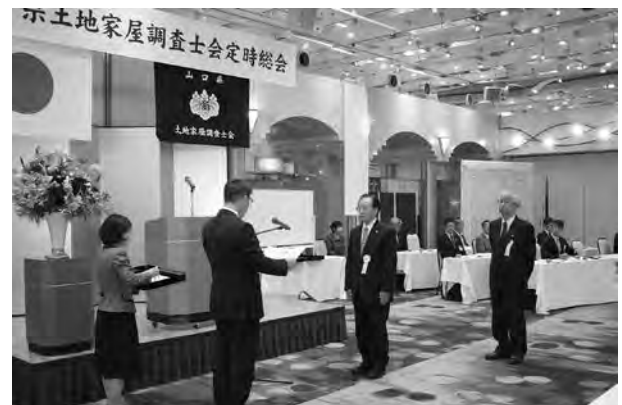
総会審議の終了後、「公図と境界」など数多くの書籍を執筆され、横浜地方法務局長など歴任された新井克美先生を講師にお招きし「表示に関する登記の歴史と今後の展望」と題した講演会を開催した。

その後、国会議員の先生方も多数ご臨席いただいた式典を開催し、所有者不明土地や空き家問題等、土地家屋調査士として係わることの重要性を認識した総会であった。

以上にて第71回定時総会の報告とさせていただきます。



新入会員紹介（左より 米谷会員、山田会員、角西会員、中川会員、村田会員）



戸倉日調連副会長から「日調連会長表彰」を授与される百合野(優)会員、高野会員

## 日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告

広報部理事 宮崎敏幸

第75回となる日本土地家屋調査士会連合会定時総会が東京都文京区の東京ドームホテルにて下記のとおり開催され、山口会からは戸倉連合会副会長、代議員として杉山会長、清水副会長、オブザーバーとして井上副会長、乗川副会長、大來総務部長と私の7名が参加させていただきました。

1. 日時 平成30年6月19日(火)  
セレモニー(表彰式等)及び議事  
平成30年6月20日(水) 議事
2. 場所 東京ドームホテル
3. 議事 第1号議案  
(イ) 平成29年度一般会計収入  
支出決算報告承認の件  
(ロ) 平成29年度特別会計収入  
支出決算報告承認の件  
第2号議案 土地家屋調査士倫理  
規程の一部改正(案)  
審議の件  
第3号議案 日本土地家屋調査士  
会連合会会則の一部  
改正(案) 審議の件  
第4号議案 退職金特別会計の廃  
止及び日本土地家屋  
調査士会連合会特別  
会計規程の一部改正  
(案) 審議の件  
第5号議案 平成30年度事業計画  
(案) 審議の件  
第6号議案  
(イ) 平成30年度一般会計収入

- 支出予算(案) 審議の件  
(ロ) 平成30年度特別会計収入  
支出予算(案) 審議の件

始めに行われた表彰式において、山口会から三好一敏会員が法務大臣表彰を受賞されました。三好会員はご来場され、ほかの19名の受賞者の方とともに登壇の上、表彰をお受けになりました。誠におめでとうございます。

続く議事においては事前に78項目にわたる質問・要望が代議員より提出されており、二日間にわたりこれに対する執行部の答弁や代議員からの質問等が活発に交わされていましたが、全ての議案につき賛成多数で可決承認され、閉会となりました。

各代議員からの質問・要望は非常に多岐にわたっていますが、現在社会的に注目を浴びている所有者不明土地問題や空き家対策問題についての制度対策、2月に発表された土地家屋調査士グランドデザインの構想実現についての具体的方策について、また特別研修・新人研修や各種会議の運営の在り方等に至るまで、連合会に期待される役割が大変大きいものであるということを感じる内容でありました。連合会役員、代議員ともに制度の発展・向上に向けて大変な熱意と危機感を持って総会に臨んでおられることを実感でき、大変良い機会となりました。以上、簡単ではありますが連合会総会の報告とさせていただきます。

# 中国ブロック 総会報告

## 中国ブロック協議会定例総会の報告

広報部長 周原 稔

第61回日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会の定例総会が、広島市において広島会の引き受けにより下記のとおり開催されました。

山口会から役員として杉山浩志会長（中国ブロック協議会会長）、乗川慎二副会長（同事務局長）、大來博康常任理事（同会計）、戸倉茂雄日調連副会長（同参与）、代議員として清水浩二副会長、原田英樹財務部長、白石龍二業務部長、周原稔広報部長、大田浩治センター長、オブザーバーとして井上哲也副会長、大下竜司理事、西村暢夫理事、宮崎敏幸理事、加えて表彰を受けられる藤井宏紀会員が出席しました。

1. 日時 平成30年6月29日（金）  
議事及びセレモニー（表彰式等）  
平成30年6月30日（土）  
研修会（講演会）  
「綱紀事案の処理について」
2. 会場 定例総会「ホテルグランヴィア広島」

研修会「広島県土地家屋調査士会館」

### 3. 議事

- 第1号議案 平成29年度事業・会務報告
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告書承認の件及び監査報告

山口会会費

(537,600円 @2,400×224名)

尚、業務監査について鳥取会・花岡真副会長（中プロ監事）より監査報告が為された後、以上2案は賛成多数にて承認可決された。

- 第3号議案 平成30年度事業計画（案）  
審議の件

- ①中プロ新人研修会を11/30～12/2に岡山市において開催することが決定していますが、来年度より、中央実施に移行される旨の報告が為された。
- ②完全オンライン化に向け日司連にて疑義があり遅れているが表示に関する登記だけでも先行実施できるよう



今後対応していく。

- ③四国ブロックとの合同研修会を9/14～9/15に実施する。
- ④日調連主催の親睦ゴルフ大会を岡山会の引き受けにより岡山市で開催されるので会員の協力をお願いしたい。
- ⑤土地家屋調査士制度70周年を迎えるに当たり広報の担当者会議の実施を検討しており議題を単位会にて熟考すること。

等々、杉山中国ブロック協議会会長より説明があった。(抜粋)

質疑において山口会・清水副会長より、各単位会の担当者が集まる機会は少ないので是非「担当者会同」は継続して実施してもらいたいとの要望が提案された。

第4号議案 平成30年度収支予算(案) 審議の件

山口会会費

(532,800円 @2,400×222名)

以上2案は賛成多数にて承認可決された。

本年度においては、会則の改正等がなく比較的質疑も少なかった印象でした。

次期開催地決定の件

島根会において開催されることが決定され、島根会寺本会長より松江市で行ない、2日目は「担当者会同」を検討する旨を説明された。

以上、滞りなく議事が終了したことをご報告いたします。

#### 4. セレモニー (表彰式等)

議事終了後、広島法務局長・醍醐邦治様、日調連会長・岡田潤一郎様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜り盛大にセレモニーが行われました。

尚、山口会からの受賞者は次のとおりです。

【広島法務局長表彰受賞者】(敬称略)

高橋清行(下関支部) 規程第2条第2号

藤井宏紀(周南支部) 同

【中国ブロック協議会会長表彰受賞者】

沖廣哲裕(岩国支部) 規程第4条第3号

吉岡弘治(宇部支部) 同

井上和夫(宇部支部) 同

川口寛司(山口支部) 同

無敵良和(下関支部) 同

福田裕之(山口支部) 同

セレモニー終了後、広島法務局・醍醐局長より冒頭謝辞があり、①備付地図整備②筆特制度③相続登記の促進等、現在の法務行政の取組みについて述べられた。

2日目は、研修会として講師に弁護士 田中陽先生をお招きし、「土地家屋調査士会における綱紀事案の処理について」の講演がありました。我々が土地家屋調査士として活動していく中でちょっとした気の緩みや油断が綱紀事案として浮上してくる怖さを感じ、改めて気の引き締まる思いをしたのは私一人でしょうか?日常の実務に非常に参考となる研修会となりました。

終わりに当番会の広島会の関係各位及びご出席いただいた各単位会役員の皆様お疲れ様でした。

以上、盛会のうちに全日程を終了しましたことをご報告いたします。

## 第1回「財産管理人支援センター」研修会報告

財産管理人支援センター運営委員会

副委員長 山根克彦

「所有者不明土地は2016年時点で約410万ヘクタールある。九州本土よりも大きい計算になるが正確な面積と所在地は把握されていない。」

日本経済新聞にこの様な記事が載っていました。この大半は山林に当たるものと思われませんが、市街地においても所有者不明土地は見受けられます。各市町において名称は違えど空き屋対策をしており、これも所有者不明の一種であると思います。

なぜ、この様に所有者不明土地が増えるのかといえば、山林においては、その価値が下がり所有者が山林に対する興味を失い、相続財産に含まれていることを相続人が知っても登記費用を負担してまで所有権移転登記をせず放置され、世代が進み法定相続人が増えて一層所有権移転登記をすることが難しくなるという悪循環になっています。耕地部分においても然りで、少子化により相続人が減少し、県外へ進学・就職してそのまま居住し、実家へ帰れない、帰らない状況が進み、近所付き合いも希薄になり、個人情報保護法により連絡方法や住所が不明になっている状態が増加しています。

この様に所有者不明土地が増加し続けている状況において、私たち土地家屋調査士の業である土地の所在を特定する能力が役立つと思います。特定される事により利用方法や処

分がし易くなるはずですが。

ですが、いざ財産管理人になったとしても、その申立方法や管理の仕方については素人に近いものがあります。

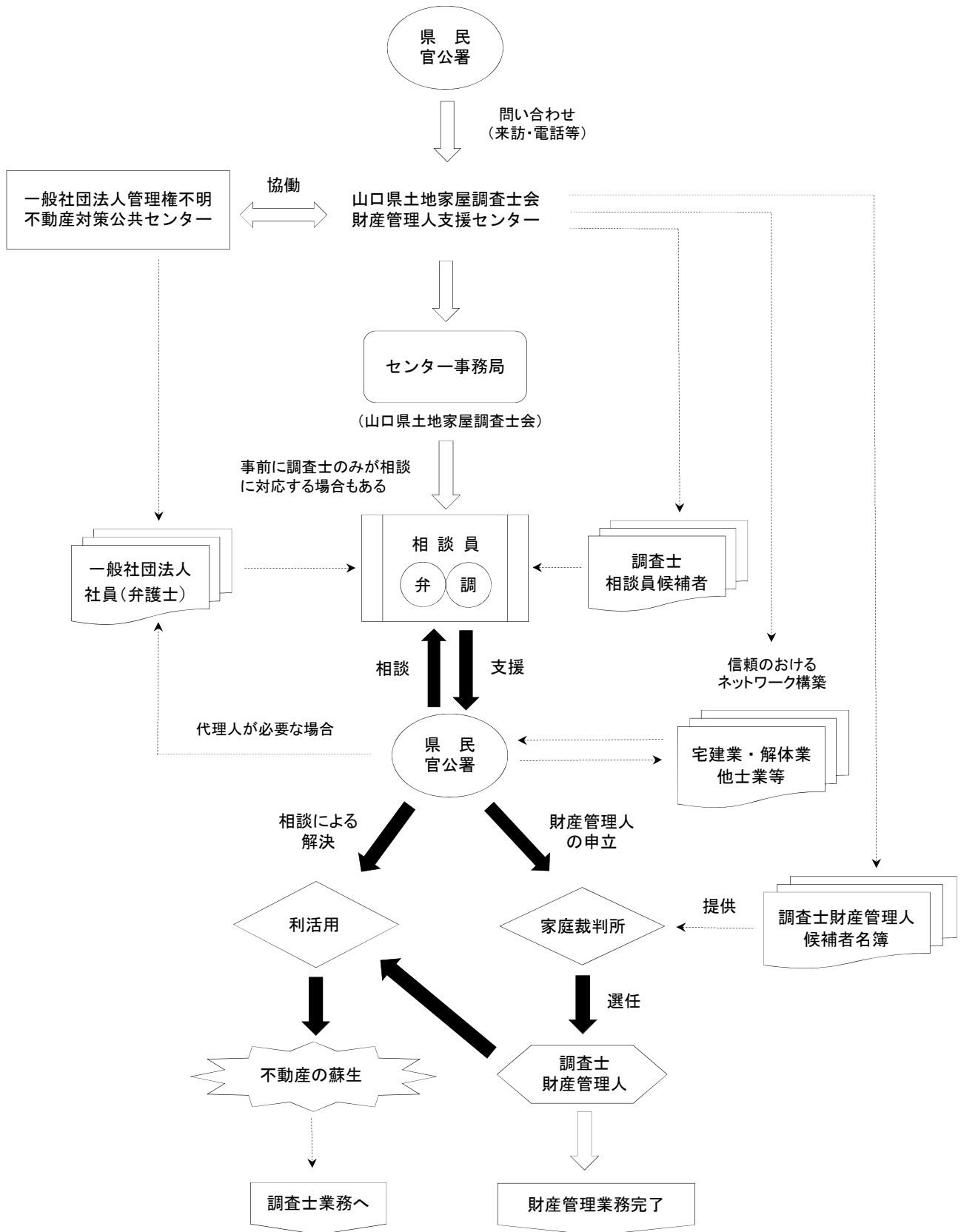
平成30年3月8日に家庭裁判所に提供する財産管理人の候補者名簿に登録を希望される方、並びに相談があった場合に対応する相談員の方を募集しました。その結果、岩国支部3名・周南支部2名・山口支部11名・萩支部2名・宇部支部7名・下関支部3名の計28名が財産管理人候補者名簿に名を連ねました。

6月25日に山口県セミナーパークにて研修会を開き、「財産管理人の心得について」(eラーニング視聴)と「一般社団法人との連携と準備委員会の経緯についての意見交換」を行いました。

eラーニング視聴により財産管理人のさわりを知ることが出来ました。経緯についての説明ではフローチャートを用いて当センターの立ち位置や一般社団法人管理権不明不動産対策公共センターとの連携を確認しました。意見交換では財産管理人を経験した方の体験談を聞いたり、今後の研修内容について協議しました。

来年3月に家庭裁判所へ名簿を提出し本格始動をする為に今後も研修を積み重ね、土地家屋調査士のスキルをあげたいと思います。

山口県土地家屋調査士会「財産管理人支援センター」 フローチャート





平成30年度  
支部総会報告

## 岩国支部定時総会報告

岩国支部長 田村直久

平成30年4月20日午後2時より、岩国市社会福祉会館にて、岩国支部定時総会が会員数38名の内、22名の出席（委任状出席16名）で開催されました。

来賓である杉山会長よりご挨拶を頂き、議長は浦井会員が選任され議事に入り平成29年度事業報告・収支決算報告承認の件、平成30年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件、役員推薦委員選任の件等、各議題とも問題なく承認され閉会した。

総会終了後、恒例の研修会を行いました。

研修内容は定めず、岩国支部95%の地域に14条地図が備付られていることから地図及び地積測量図による復元測量の方法、そして、復元測量後、隣接土地所有者、利害関係人との立会においての境界の確認方法等、会員全員で協議しました。多くの意見が飛び交いましたが、次の懇親会の時間も迫り研修会よりも懇親会ということで会場を移し、午後6時より8時迄、大いに飲み、語り、岩国支部定時総会を終了しました。



# 周南支部定時総会報告

周南支部広報協力委員 西田泰則

平成30年5月14日午後4時50分から、ホテルサンルート徳山において、本年度周南支部定時総会が開催された。

山口地方法務局周南支局からは井上貴之支局長、山本基晴統括登記官、濱本一夫表示登記専門官のご臨席を賜った他、本会から杉山会長、同政治連盟三好会長代理竹安会員にご参会いただき、それぞれ温かい祝辞を頂戴した。

本年度被表彰者は、藤井宏紀会員が広島法務局長表彰に、乗川慎二会員が山口地方法務局局長表彰に、林洋子会員が土地家屋調査士

会会長表彰に、それぞれ該当して顕彰された他、藤井会員には、既に黄綬褒章受章の栄にも浴され、支部にとっても慶賀の至りである。

来賓が退場の後、総会は議長を選して速やかに議事に入り、各議題粛々と進行採決されて事もなく終了したが、閉会前、新人3名（角西、濱田、山田の各氏）の自己紹介があり、藤井先生褒章と併せて、今年の支部総会に何か賑々しい感じを添えた。

夕刻より、恒例の司調合同親睦会。来賓出席者を交えて各席談笑のひと時をもった。



# 防府支部定時総会報告

防府支部長 前田祐史

平成30年4月21日午後6時から防府市天神の中谷にて定時総会が開催されました。

篠田副支部長の司会進行のもと私の挨拶に始まり、来賓である杉山会長より御挨拶を頂きました。議長は石田会員が選任されました。

防府支部 会員数15名

(出席者11名、委任3名、白紙委任1名)

議事の内容については下記の通りです。

- (1) 平成29年度事業報告並びに収支決算承認の件 (監査報告)
- (2) 平成30年度事業計画案並びに収支予算案承認の件
- (3) 平成30年度・平成31年度本部役員推薦委員・予備役員推薦委員改選の件

1号議案は、事業報告で支部研修の日程を会員が参加しやすい日時を設定するように求められました。

2号議案は、サポーター制度の継続が認められました。まだ新人の指導強化が必要と感ずるため支部長として感謝しています。

来期からは、2名のサポーターを削減します。

3号議案は、支部長指名の通りに決定されました。

以上、各議案が承認され平成30年度定時総会が終了しました。

その後の懇親会では、杉山会長より岩国支部と防府支部の合同研修について、相談がありました。相互交流は、各会員の日頃の業務の進め方を見直したり、視野の広い判断力の形成に有効でもあります。また日常、競争関係にない離れた地域の会員なので本音で親睦できると思います。



越智代表企画委員も頑張るしかない1年になりそうな予感・・・

最後の一言では、阿部監事が防府市台道小俣地区に伝わる笑い講(神事)を余興で披露され、みんなで笑って、笑って・・・で笑いの渦に引き込まれました。忙しい事務所なのに、どこで練習しているのか気になりました・・・立会い不調ゼロ宣言事務所!?

来年の本会理事候補者は男気のある方・・・(下記写真の中央の一番奥の吉村会員)



# 山口支部定時総会報告

山口支部理事 大森淳一

日時 平成30年4月27日（金）午後5時  
場所 山口市湯田温泉五丁目5番22号  
サンフレッシュ山口・山口勤労者総合福祉センター  
出席者 24名（本人17名、委任状7名）  
会員総数 29名

梶山理事の司会のもと、益田支部長の挨拶に始まり、杉山会長より祝辞をいただきました。そして、政連の大來会計責任者より三好会長の祝辞を代読していただいた後、山根会員が議長に選任され議事に入りました。

第1号議案「平成29年度事業報告並びに収支決算監査報告及び承認の件」の報告をし、全員の承認を得ました。第2号議案「平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認の件」の発案をし、全員の承認を得ました。益田支部長より、本会が実施する出前授

業への協力、また災害協定支援活動への協力をおこなっていきたい旨の説明がありました。第3号議案「山口県土地家屋調査士会役員推薦委員及び予備推薦委員選任の件」について議事が行われ、役員推薦委員に青木正治会員、予備推薦委員に梶山実会員がそれぞれ選任されました。以上のとおり、山口支部定時総会は平穩無事に閉会を迎えました。

総会終了後、会員より財産管理人支援センターの現状について、杉山会長に質問があり、杉山会長より、センターの現在の状況、これからの展望などのお話しをいただき有意義な時間となりました。その後、湯田温泉の居酒屋にて懇親会を開催し杉山会長もご参加いただき、会員の交流を深めることが出来ました。

以上を持って簡単ではありますが平成30年度の支部総会の報告とさせていただきます。



# 萩支部定時総会報告

萩支部長 岡村 匠

平成30年4月20日（金）午後5時より、「萩本陣」において支部会員10名のうち9名が出席して支部総会を開催した。

萩支部を長い間、先頭に立って牽引してこられた竹内重信会員が3月末をもって調査士会を退会され、今回はそのお姿のない、誠に寂しい総会となった。

支部長挨拶に引き続き、来賓にお迎えした杉山浩志会長代理の乗川慎二副会長より祝辞をいただいた。

会議では、下記議案を審議し、原案どおり

承認可決された。

- 第1号議案 平成29年度事業報告、収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度事業計画（案）、収支予算（案）承認の件
- 第3号議案 役員推薦委員及び予備役員推薦委員の改選

総会終了後、例年通り司法書士会萩支部との合同懇親会を開催し盛会のうちに終了した。



# 宇部支部定時総会報告

宇部支部理事 末富洋一

第71回宇部支部定時総会は、平成30年5月11日（金）午後5時より、ANAクラウンプラザホテル宇部において、会員総数38名全員の出席（本人出席23名、委任状出席13名）で開催された。

当日は、山口地方法務局宇部支局宇野秀穂支局長及び杉山会長をご来賓としてお招きし、ご祝辞を賜りました。また、新入会員2名の紹介・挨拶がなされた。

総会では、白石龍二会員が議長に選任され、以下の議案について審議が行われたが、いずれの議案も承認可決された。

## 記

- 第1号議案 平成29年事業報告及び収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度事業計画案及び収支予算案承認の件
- 第3号議案 役員改選の件（本会役員推薦委員及び予備役員推薦委員）

今年度は支部・本会役員改選がなく、昨年と違い和やかに議事は終了したが、1年後の総会では次期役員について速やかに決めるのか……。昨年の支部総会報告書にも記載したが、今後、役員改選の新たなルール作りをすることが必要と思われるが、それが無理なら、せめて阿吽の呼吸なるものに期待したい。

## 追記

懇親会は、三宅泰治宇部公証人、宇野支局長、井上統括登記官をお招きし、昨年に引き続き司法書士会と合同で行われました。各所で話に花が咲き、盛り上がった懇親会となりました。豊川支部長様、一年間大変お疲れ様でした！



# 下関支部定時総会報告

下関支部副支部長 山崎義文

平成30年5月12日（土）午後3時より、下関市赤間町の東京第一ホテル下関にて本年の下関支部定時総会が開催されました。八田廣支部長の挨拶に始まり、杉山浩志会長よりご挨拶をいただいた後、本部理事の宮崎敏幸会員が議長に選任されて議事に入りました。

議事の内容については以下のとおりです。

- 第1号議案 平成29年度事業報告・収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成30年度事業計画案・収支予算案承認の件
- 第3号議案 役員選任委員任期満了による改選の件
- 第4号議案 役員推薦委員選任の件

第1号議案では、平成29年度事業報告として2回開催されました支部研修会及び、PR活動の登記無料相談会と、山口県立下関工科高等学校建設工学科2年土木コースの生徒に対する測量外業実習サポートの実施報告と、平成29年度収支決算報告及び、監査報告が発表され、承認されました。

第2号議案では、平成30年度企画事業計画案で2回開催されます支部研修会として個人情報保護に関するDVD視聴と、相続人調査の仕方・戸籍の取得と見方を行う旨及び、PR活動の登記無料相談会と、昨年と同じく山口県立下関工科高等学校建設工学科2年土木コースの生徒に対する測量外業実習サポートを行う旨と、平成30年度収支予算案が発表され、承認されました。

第3号・4号議案では、役員選任委員任期

満了による改選及び役員推薦委員選任の議事が行われ、役員選任委員は下野洋二会員が選任され、宮崎幸三会員・大田浩治会員が再任されました。また役員推薦委員は宮崎幸三会員、予備役員推薦委員は下野洋二会員がそれぞれ選任されました。

午後5時から、本会の杉山会長をはじめ、山口地方法務局下関支局長池永真様、表示登記専門官隈井隆之様、下関市長前田晋太郎様、下関唐戸公証人山下裕一郎様、山口県司法書士会会長渡邊一正様ほか、関係団体の下関支部長様ら来賓をお迎えして山口県司法書士会下関支部との合同支部総会が開かれました。

来賓祝辞では、池永支局長より相続登記の促進について、相続登記の未登記が所有者不明土地問題の要因の一つになっている旨、法定相続情報証明制度による相続登記の促進について、登記オンライン申請の促進による申請率の状況が話され、山口県は全国の中でもオンライン申請の利用率が高い旨を話され、最後に山地番・耕地番の解消に関する話をされました。また会員表彰では、本年3月をもって退会された米谷敏昭元会員が在籍期間中の永年功労をたたえられ、表彰を受けられました。

午後6時から開かれた司調合同の懇親会では、司法書士会下関支部の日比野支部長が総会の謝辞を述べられ、懇親会が始まりました。1時間半あまりにわたって和やかな歓談、盛会のうちに終了しました。

簡単ではございますが、以上で平成30年の下関支部定時総会の報告と致します。

# 支部だより

## 平成29年度 第2回岩国支部研修報告

岩国支部長 田村直久

日時 平成30年1月20日（土）  
午後1時30分より午後5時00分まで  
平成30年1月21日（日）  
午前10時00分より午前12時00分まで  
（参加者 38名中24名 他支部2名）  
場所 岩国市由宇町深山2273番地2  
ふれあいパーク山口県由宇青少年自然の家

平成30年1月20日（土）、1月21日（日）、岩国支部恒例の泊まり込み2日連続の研修会を行いました。

初日の1月20日（土）1時30分より、県土地家屋調査士会会長 杉山浩志氏を講師にお迎えし、

題目 「相続人の特定（戸籍の見方、取得の仕方）」

趣旨

相続情報証明代理人、所有者不明土地・空き家問題、財産管理人等々。市民から土地家屋調査士へ、これから求められる専門能力として、相続人の特定は必須です。

貴方は、相続人の特定を自信を持って出来ますか？

を、題目、趣旨としてお話を頂きました。

まず、戸籍の基礎知識について、戸籍の歴史、そして戸籍の種類の説明があり、明治5年式戸籍（壬申戸籍）、明治31年式戸籍、大正4年式戸籍、そして、新憲法のもと、新しい戸籍法により施行された昭和23年式戸籍、戸籍事務の電算化により改正された平成6年式戸籍、それぞれの戸籍を資料として作成さ

れ、詳しい説明を受けました。

次に、戸籍の種類、戸籍、除籍、改正原戸籍等の説明後、講師自身が作成された膨大な戸籍より相続人を特定する相続関係説明図を出席者全員が作成しました。結果は、私を除いてはほぼ全員が講師の意図する問題点に引っ掛かり、正確な説明図が作成出来なかったこと、やはり、相続に関する事項は、調査士の弱点だと感じました。

杉山会長の講義も最高でしたが、一睡もすることなく作成された資料は、戸籍の見方、相続人の特定について、理解しやすく、私は参考図書として利用しています。

杉山会長は、会務に忙しい中、膨大な資料作成等、研修会の講師を引き受けてくださり厚く御礼申し上げます。

夜の部については、お酒をふんだんに用意し、夕食後から翌日の朝3時まで、調査士としての自分の立ち位置、考え方、業務方法等を話し合い、ちなみに私は、1時30分頃退席しました。

翌日は、土地家屋調査士の日常業務（調査、測量、申請）のなか、業務方法、法務局の対処の仕方、自分が抱える不安要素等提起し、全員で協議する岩国支部独特の研修をしました。洪瀬会員が中心となり協議を進めて頂き、充実した2時間の研修でした。

今回の研修は、最近入会された若い会員にとって価値ある研修そして集まりだったと思いますし、ベテラン会員も調査士業務を継続しておられる以上、参加すべきであると私自身感じました。



# 平成30年度 第1回岩国支部研修会報告

岩国支部長 田村直久

日 時 平成30年4月20日（金曜日）  
午後3時30分より午後5時30分まで

場 所 岩国市麻里布町七丁目1番2号  
岩国市福社会館

研修内容 日常業務の中での、疑問点、問題点の協議

参加者 支部会員 38名中22名

岩国支部の第1回の研修会は、毎年総会終了後、行っています。今年も総会を午後3時30分に終了し、日常業務の中での、疑問点、問題点を協議する方法で行いました。

岩国、柳井地区は、95%の地域に14条地図が備付られていることから地図及び地積測量図による復元測量の方法、そして、復元測量後、隣接土地所有者、利害関係人との立会に

おいての境界の確認方法等、全員で協議しました。

復元測量について、地籍調査基準点より復元することが最適ではあるが、地籍調査は、昭和40年頃から実施されており、大部分の基準点は消失しており、基準にするべきものがない状況で、どんな方法で復元するのか？

また、復元測量後の立会においての境界の確認方法、自分が復元した位置と現況構造物が、誤差の範囲を越えた位置に所在していた場合の対処の方法について激論を交わしました。

しかし、次の懇親会の時間も迫り研修会よりも懇親会ということで会場を移し、午後6時より8時迄、大いに飲み、語り、総会及び研修会を終了しました。

# 平成30年度 第2回岩国支部研修会報告

岩国支部理事 尾崎友浩

日 時：平成30年7月28日（土）  
13：30～17：00  
場 所：岩国市総合体育館会議室  
（実技は川西河川敷ドローン飛行場  
へ移動）  
内 容：「ドローンを用いた測量」  
講 師：JUIDA山口ドローンスクール  
有国秀頼氏  
福井コンピューター 木下哲也氏  
参加者：支部会員 20名  
補助者 3名

①13：30～14：15  
小型無人航空機（ドローン）の概要・航空法について  
講師の有国氏より、ドローンの種類、飛行できる空域及び許可の有無など、事細かく決められていることを知りました。  
又、実際に撮影した画像を基に説明を受け、その中には7月6日におきた岩国市豪雨災害の現場画像などもあり、危険な場所での状況確認など幅広く活用されるドローンは非常に興味深いものでありました。

②14：15～15：00  
3次元測量（ドローンによる写真測量）について



講師の木下氏より、実際の現場資料を基に画像処理の方法、実測との差異（精度）等の説明があり、精度については多少疑問も残りますが、写真測量により広範囲を短時間で計測できるなど、大きなメリットがあることがわかりました。

③15：00～17：00 川西河川敷ドローン飛行場へ車で移動  
ドローン航行見学、及び体験フライト  
再び有国氏より、プログラム入力後、ドローン自律航行、手動航行。  
中型機では最高時速70km、産業用大型機では最高時速100kmの飛行デモ。  
写真撮影や動画撮影では、空中から研修会風景が撮影され、希望者での体験フライトも行われました。

さまざまなビジネスや現場で注目を集めているドローン。  
これから私たちの周りでも活躍することでしょう！  
今回講師としてお世話になった有国秀頼氏は、以前土地家屋調査士の補助者であったこともあり、多数の方と面識があり、ざっくばらんな研修会となりました。



# 平成30年度 第1回山口支部研修会報告

山口支部企画委員 大森淳一

日 時：平成30年8月8日（水）  
17時30分～19時30分  
会 場：山口市湯田温泉五丁目5番22号  
サンフレッシュ山口・山口勤労者総合福祉センター  
出席者：山口支部11名、他支部1名  
内 容：分間図（公図）と筆界 一実務と理論一

夏本番の最中、初の夕方開催となりました。気温も昼間よりも下がっているので研修も集中できたと思います。みなさん非常に日焼けされておりましたが、外業では体調管理に気を付けていただきたいと思います。

今回の研修会は当支部の川口寛司会員を講師として、公図と筆界をテーマに行いました。まずは公図の成り立ちの歴史についてのお話で、山口県における公図作成の測量の状況や、測量した地形の位置などが確認できました。それにより現地と公図の比較において、外畦畔や赤線の道却が公図に表現されてい

ないケースもあることや、字界に存在する法定外公共物の幅の違いなど、考慮しなければならないポイントの説明があり、非常に参考になりました。また、公共機関との境界確認書の注意点などの説明もあり、永遠に責任を負う土地家屋調査士として常日頃より知識、スキルの上昇に努めなければ、境界の誤認などを引き起こすことにもつながり、身の引き締まる思いもしました。研修の最後には川口会員の実例に基づいての説明がありました。こういう地形ではどのように境界を査定するか実務に直結する内容でしたので非常に参考になりました。質問時間においても非常に盛り上がりまして、それを踏まえて、現在業務で困っていることの質問なども出て参加者で議論する場面もありました。

今回は研修会後に懇親会を設けて交流を深めました。研修参加者のほとんどが参加していただき、研修の内容や最近の業務の状況や困ったことなど、皆さん活発に交流されていました。



# 平成30年度 第1回宇部支部研修会報告

宇部支部企画委員 木下修治

日 時：平成30年7月28日（土）  
14時30分～17時  
場 所：宇部市男女共同参画センター・フ  
ォー・ユー  
2階、第1講習室  
研修内容：「調査士カルテMap」  
土地家屋調査士情報保全システム  
の意義  
参 加 者：支部会員8名

支部研修会の内容等、報告します。

「調査士カルテMap」については、先般本部研修会でも取り上げられましたが再度、支部会員には「調査士カルテMap」の案内と今後の「調査士カルテMap」の日々の実務での取り込みについての方向性を日調連からの2時間程度のビデオで研修しました。

私は今回のビデオを見るのは2回目でありましたが、注意深く見聞きさらに今回の研修会報告の原稿を書くにあたり、日調連の会報にて“業務情報公開システム実証実験報告”日調連のホームページから“調査士カルテ

Mapの紹介”を読んで感じた事は、私見ではありますがまだまだ大きな問題点も有る様に思えました。

しかしながらこの「調査士カルテMap」のハード面、ソフト面を正しく理解し全ての調査士が共有すれば、今後日々の業務において最大のツールになると確信し、近い将来、土地家屋調査士、イコール「調査士カルテMap」になる程のポテンシャルを感じました。

現状の「調査士カルテMap」は全国何か所かで実証実験を終え今後の展開に向かっている実情だとおもいます。まだ「調査士カルテMap」の認識の低い会員は日調連の資料を読み関心を持ってほしいと思います。

今回の研修会は冒頭に記述した様にビデオでの研修会で、参加率も低く、研修会開催側のむつかしさを痛感しました、他支部の企画委員の皆様も大変であると思いますが頑張りましょう。

“チェスト 気張れ”

# 「杭の日」無料相談会の報告

## 「杭の日」無料相談会 開催場所・件数

日時	場所	件数
9月3日（月） 10：00～15：00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽二丁目8-33	5
9月1日（土） 9：00～15：00	サンライフ防府 防府市八王子二丁目8番9号	3
9月1日（土） 10：00～16：00	フジグラン山口 生活館 正面玄関横 山口市黒川 3736 番地	4
9月1日（土） 10：00～15：00	フジグラン宇部 1階 ドコモショップ向かい 宇部市明神町3-1-1	3
9月3日（月） 9：00～15：00	下関市役所 本庁舎新館 1階ロビー 下関市南部町1番1号	3
合計		18

# 周南会場

周南支部理事 西田泰則

日 時 平成30年9月3日 月曜日  
午前10時～午後3時

場 所 山口地方法務局周南支局  
3階会議室

相談者 5件（午前3件、午後2件）

相談内容

- 1 県道敷買収に伴う土地活用の相談。業務とは具体的接点なし。⇒ 現況を見た上で可能な範囲で助言することにした。
- 2 隣接地所有者が、勝手に境界ブロックを築いて困っている。⇒ 話し合いの前提として測量をすることをすすめた。
- 3 県所有地との境界確認の内容及び分筆・払下費用の分担について。⇒ 前者は調査士の職務の公平性に関して、後者は県担当部署への確認をすすめた。
- 4 隣接地との境界を明確にしたい。⇒ 地積測量図の備付がない場合、測量・立会の要ありと説明。

- 5 山林を売却したいが、山林の帳簿に登載されている所有地の範囲が大きすぎるようだがどうすればよいか？⇒ 記載の地番に含まれる可能性のある範囲を示したもので、実際の土地の範囲と一致するものではないので、隣接所有者と立会確認して欲しい。

お天気もよく、多数の来場を予想したものの、結果的には計5人と振るわなかった。相談内容も、業務とは関係ないものや、単純な回答にとどまる案件であった。

とはいえ、緊張気味の相談者を前に、各員とも丁寧に内容を聴き取られ、終始噛み砕いた説明で応じていただいたので、皆さんそれなりに納得していただけたものと思う。

今後とも広告方法など工夫して、より多くの方のお役に立てるよう精進したい。



# 防府会場

防府支部企画委員 山根良吾

日時 平成30年9月1日(土)  
午前9時～午後3時  
会場 サンライフ防府2階  
相談員7名(午前4名 午後4名)  
相談件数3件

毎年恒例の杭の日相談会があいにくの雨天の中、行われました。ここ一か月ほど日照りが続いていましたのに、よりによって相談会当日は大雨予報。9月1日は防災の日でもあります。最近の大雨はただならぬ災害を日本中でもたらしていることもあり、防災の日らしくこの大雨の中、不用不急の外出は控えられることになれば相談者もほとんど来られないのでは…と考えておりました。ただし事前に3件ほど相談予約が入っていたことから、少なくとも数名の相談者はこられるということでお待ちしております。

結果的には午前中に3組の相談者がこられ、午後からは来られませんでした。相談内容は①境界標識を隣地工事によって損壊させられてトラブルになっているケースへの対処方法について、②自己所有地を売却したいが境界標が無い場合測量を依頼するにはどうすればいいのか、③相続登記全般についての質

問、といった内容でした。相続登記に関する回答は司法書士を兼務されている相談員が担当し、残りの2件については普段の日常業務でもよくあるケースでしたので、それぞれに的確なアドバイスができたと思います。3組ともおおむね満足されて帰られました。

私が相談員を務めました①の境界標損壊によるトラブルについては、近年の土地境界に対する意識の高まりという背景があるにも関わらず無神経な工事業者和その現場監督の対応を聞き驚かされました。まだまだ境界標に対する周知が末端の現場まで行き届いていないということも感じましたし、我々土地家屋調査士の責務として今後も境界標の大切さと保存しなくてはならないものであると、広く訴えていきたいと感じます。

なお、大雨とはいえ相談件数が3件しかなかったということで杭の日を広くアピールすることの難しさも痛感しました。もっと相談会の日を広く知っていただくためにもそもそも調査士の存在を広く一般に知っていただくよう何か活動できないか模索していかなくてはいけないのかもしれない。



## 山口会場

山口支部 原田英樹

日 時 平成30年9月1日（土）  
午前10時00分～午後4時00分  
会 場 フジグラン山口 生活館（山口市黒川）  
相 談 員 4名  
相 談 件 数 4件

山口支部は、例年調査士会館で行っているが、支部長の熱い思いからフジグラン山口生活館をお借りして9月1日（土）に無料相談会を開催しました。

相談予約も午後から2件入っており、また、飛び込みでどのくらいの相談があるか期待と不安の中、相談会が始まりました。しかし、天候は大雨。結局午前中は0件。

午後1時になって、予約されていた相談者が来場され、相談員2名で開始しました。この相談者は、大雨の中、数十分かけて自転車で来場されていました。20分後受付窓口を見つみると、2組の方が狭いテーブルで相談さ

れていました。

午後から4件（内予約1件）の相談でした。予約の方1組は来場されませんでした。

相談内容は、下記のとおりでした。

- (1) 不動産を売却したいが、測量・境界確認等が必要か？
- (2) 建物取り壊し及び固定資産税について
- (3) 境界立会において、承諾していないのに境界標を設置されることはあるのか？
- (4) 相続が開始している土地に建物を建築したい。登記等手続きの流れ・費用について知りたい。

最初に書いたとおり、調査士会館で相談会を行うのもいいが、外部会場で行うのも広報活動となるため、今後も会場について検討していき、PRの方法や相談会の会場設営等改善の余地があるので、この結果を来年度の相談会の準備に活かして行きたいと思います。





# 宇部会場

宇部支部理事 末富洋一

日 時 平成30年9月1日（土）  
午前10時～午後3時  
場 所 フジグラン宇部1階  
相 談 員 午前4名・午後4名  
相談件数 3件（午前2件、午後1件）

上記のとおり「杭の日無料相談会」が行われ、午前中のみ相談員として参加した。

今年の夏は大変雨が少なく、また極めて暑く、誰彼と雨と涼を求めていたところと思う。そんな雨と涼が慌ててやってきた当日、それが原因かショッピングモール自体に人はまばらで、雲行き怪し。

私は久しぶりの相談会ということで、やや緊張しつつ参加したが、終始受付対応（ほとんど座っているだけ）で、通路向かいの某通信会社店頭のペッパー君が唄う「恋するフォーチュンクッキー」を何度も何度も聴きなが

ら、穏やかに（無情にも）時間が過ぎていった。

相談件数は全部で3件（午前2件、午後1件）。うち2件は、相続・不動産管理についてということで、調査士業務とは直接関係のない内容であった。

近年は、調査士相談会のみならず、どの相談会も件数が伸び悩んでいると感じる。相談窓口が多様化したことに一因があると思うが、世の相談自体は減っていないと常々感じている。どういう形にせよ市民が相談できる場所があることは望ましいことである。相談件数にかかわらず相談できる場所を提供し実績を作り続けることが、この業界を守ることになると思います。

終わりに、豊川支部長はじめ相談員の皆様、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

以 上



## 下関会場

下関支部理事 山崎義文

日時 平成30年9月3日（月）  
午前9時から午後3時まで  
場所 下関市役所1階ロビー  
相談員 午前2名 午後2名  
相談者 午前1名 午後2名

去る9月3日（月）に毎年恒例の「杭の日」無料相談会を下関市役所1階ロビーにて行いました。残暑厳しい中、来庁者もまばらではありましたが、午前中に土地の境界（相隣関係）に関する相談が1件、午後からは売買時の境界確認に関する相談が1件、分筆した土地の登記済証に関する相談が1件ありまし

た。

今回、「杭の日」にふさわしく境界標に関する相談があり、表示登記に関するお問い合わせもあり、微力ながらもお役に立てたのではないかと思います。

事前に市報「しものせき」に掲載していましたが、今回相談者が若干少なく、少し残念ではありますが今日の無料相談会が相談者にとって表示登記や境界に関する悩みを解決できる一助になればと思います。

簡単ではありますが「杭の日」無料相談会の報告とさせていただきます。



# 山口法律関連士業 ネットワーク

## 山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告

広報部理事 伊藤正典

平成30年度の定期大会が、山口県不動産鑑定士協会の当番会引き受けにより下記の通り開催されました。調査士会からは、乗川慎二副会長、清水浩二副会長ほか7名が出席しました。

1. 日 時 平成30年7月18日（水）  
午後4時 開会
2. 会 場 ホテルニュータナカ（山口市湯田温泉）
3. 出席者 定期大会64名、講演会84名、懇親会73名
4. 議 事 ①平成29年度事業報告及び決算報告  
②平成29年度監査報告  
③平成30年度事業計画及び収支予算書報告

平成30年度の事業計画においては、

1. 定期大会開催の7月18日（水）に講演会等の開催、
2. 県内において共同相談会の開催（今年度は11月10日（土）に山口市民会館で開催）、
3. 山口県内における大規模災害が発生した際の応援協定に係る応援、
4. 各参加団体の専門性を活かした共同研究として、研修会・研究会・発表会等の開催、
5. 各士業間との連絡や情報交換を密にし、地域社会に貢献、

が挙げられました。

大会に続いて、午後4時30分より午後6時まで講演会が開催されました。「一般社団法人 岡山住まいと暮らしの相談センター」理事の石田伸治氏を講師に迎え、「空き家対策と士業の連携～岡山住まいと暮らしの相談センターの3年間の取組み」の演題でお話をいただきました。

講演の中では同センターの活動が紹介され、特に国土交通省住宅局住宅生産課の公募「消費者の相談体制整備事業」に平成28年度及び29年度に連続で採択されたほか、また同省土地・建設産業局不動産課の公募「平成29年度地域の空き家・空き地等の利活用等に関するモデル事業」にも採択されたことなどが取組みの成果として挙げられました。さらに同センターでは専門家相談員を配置し、弁護士、税理士、不動産鑑定士、建築士、司法書士、土地家屋調査士、社会保険労務士、宅地建物取引士、不動産コンサルティングマスター、ケアマネージャーなど様々な職種の専門家が連携して市民の相談に答えている実績も紹介されました。そのほかにも多くの興味深い取組みを行っている同会の活動は、公式ホームページでも詳しく掲載されているとのことでした。興味のある方は是非ご覧になってはいかがでしょうか。

講演会の終了後、午後6時10分より午後8時まで懇親会が開催されました。多数の御来賓と各士業8団体から多くの参加者があり、皆さん士業の枠を超え、和やかに交流・歓談されるなど、大変な盛会となりました。



# 『第9回 全国一斉不動産表示登記無料相談会』の報告

広報担当副会長 清水浩二

平成30年7月31日の火曜日、『全国一斉不動産表示登記無料相談会』が山口県土地家屋調査士会館で10時から17時まで開催され、相談員として、山口地方法務局登記部門登記調査官の大田嘉勝様、山口県土地家屋調査士会からは私と広報部の周原常任理事、伊藤理事、宮崎理事の計5名が対応致しました。

この相談会は全国の土地家屋調査士会が一斉に行う相談会で、今回で9回目の開催となります。市報やフリーペーパー等への広告が掲載されたお陰もあり、午前中に4組、午後には2組の相談者が来場され、登記に関する相談をされました。

相談内容に関しては、合筆登記に関する事項、境界問題に関する事項、筆界特定に関する事項、建物の登記手続きに関する事項と様々でした。

山口会では、各支部で定期的に無料相談会を開催しておりますが、もっと市民の方々に相談会の告知も行い、少しでも多くの市民の皆様、土地家屋調査士の仕事を知らせてもらい、市民の皆様役に役立つ活動を継続して行いたいと思います。

今回の相談会には法務局の登記調査官の大田様にも参加していただき、筆界特定に関する対応をしてもらい、相談者にとっても良い機会となりました。現在山口県宇部市に於いて、地図作成作業を行っておりますので、これからも法務局の方々と協力して様々な事業を行って行きたいと思っております。

最後になりましたが、職務中にも関わらず、相談員として協力して下さった山口地方法務局の皆様へ感謝を致しまして、相談会の報告とさせていただきます。



# 事務所紹介

宇部支部

## 白石龍二 事務所

宇部市寺の前町5番4-2号



しらいしりゅうじ  
会員氏名 白石龍二

### Q. 家族構成

妻、1女3男の4人の子ども、長女は北九州市ではたらいっているの、現在は、5人で暮らしています。もっぱら、私の帰りが遅いため、近所では、母子家庭？と、噂されているとか...一番下の子はまだ小学5年生ですので、あと、15年は頑張らないといけません。



### Q. 調査士になったきっかけは？

もともと、サラリーマンには向いてなく、自分で事業をしたいと思っており、宅地造成の設計が出来たため、設計事務所を開業しましたが、泣かず飛ばずで、うまく商売が出来ませんでした。宅地造成の依頼を受けても、初めに調査士が境界確認を行い、私が設計を行い最後にまた調査士が分筆登記を行う流れとなり、私が行う設計はわずかな報酬しか無いのに比べ調査士さんは高額な報酬を得られていました。

その時、『私が調査士の資格を取れば儲けられる』と考え調査士の受験を始めました。

初めの1、2年はまじめに勉強せず、呑気に受験していましたが、設計だけでは、家族が養えない状況になり、必死で勉強しました。そのかいあって、資格に合格することが出来ました。幸いなことに、資格を取った時期がちょうど不動産業界の代変わりの時期でもあって、寝る間もないくらい沢山の仕事を頂きました。

### Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

開業時ワンマン測量を行っていたのでS6（自動追尾機能付き）使っていました。

現況測量の依頼を受けワンマン測量を行い事務所に戻りデーターをソフトに入れると20点ぐらい同じポイントを測距していました。後日確認したところ、道路の反射板でした。

また測量する羽目になりました。機械を過信してはいけないと思った出来事です。

測量作業で一番怖いのは、無邪気な小学生です。測量作業に興味を示し、『何を見てるんですか？見せて下さい』と集団でトランシットを覗き機械を動かすのは、まだ可愛いほうで、ランドセルを背負ったまま、三脚をくぐろうとして機械を倒しかけたりと、思いもしない行動をします。私ではありませんが、盗撮させたと警察を呼ばれた方もおられます。

大きな被害がないため『小学生は怖いね』と笑い話ですが、気を付けておかないと痛い目に遭いそうです。

#### Q. その他

水路側溝等に境界標を設置する場合、側溝が壊れる場合が多々あります。何か良い方法をご存知の方は教えて下さい。また、測量車の整理が上手く出来ません。

#### Q. 将来のビジョン

何年か後には、調査士法人を立ち上げ、私が居なくても業務が進行する環境を作り、不労収入を得たいと思います。サラリーマン調査士になりたい方はご連絡下さい。(笑)

冗談はさておき、若者が土地家屋調査士になりたいと思って頂けるような事務所にしたいです。収入面だけでなく、地位の確立や、知名度を上げて、憧れられる存在になるよう研鑽したいと思います。



下関支部

## 福田真也 事務所

下関市豊浦町大字川棚7100番地11



ふくだまさや  
会員氏名 福田真也

Q. 事務所のスタッフについて教えてください。

調査士の父と補助者の母と3人です。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

下関市豊浦町川棚にあるJR西日本山陰本線川棚温泉駅前にちいさな事務所をかまえております。私の生まれた年に開業44年目です。



Q. 趣味（最近ハマっていること）などについて教えてください。

趣味はサッカーです。週1回のフットサルで汗を流しています。社会人サッカー下関リーグで20年以上現役です。現在は30歳以上のミドルリーグでひとまわり以上若い人たちに、もまれてます。

同時にサッカー4級審判免許を取得し、息子の所属するサッカースポーツ少年団で指導者をしています。毎週水・金・土・日1年間ほぼ休みなく指導しています。ついつい本業よりも熱が入り、指導者養成講習会等で、サッカーの技術はもちろん、物事に取り組む姿勢や礼儀・挨拶・コミュニケーションなど、人間性の部分も学び、子供たちと信頼関係を築きあげ、今年は激戦の下関大会を勝ち抜き山口県大会まで勝ち進むことができました。



**Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？**

山の中で測量中に、スズメバチを叩き落してしまい、その後十数匹のスズメバチに襲われ走ってその場から逃げました。一緒に働いている父に「スズメバチなんかこわがって調査士がつとまるか！1回くらい刺されて1人前じゃ！」と、どやされました。

『さすが…キャリアの差だな』と感心し反省しました。

翌日の同じ現場に父が、フルフェイスのヘルメットと宇宙服のような格好で現れた時には、マハトマ・ガンジーの名言「自分の身は自分で守るしかない。」を思い出しました。いろんな意味でとても印象に残った現場です。

**Q. 調査士として、気をつけていることはありますか？**

お客さまや隣接者に挨拶する際の第一印象です。「第一印象は見た感じで55%決まる。」とマナー講座で教わりました。身だしなみを整え、清潔感を出し好印象を持ってもらうよう努めております。

極度の人見知りで、初対面の方と話すことをとても苦手としていました。年を重ねるごとに仕事のいろいろなお付き合い・小学校中学校PTA役員・地元の消防団活動・スポーツ少年団指導など、いろいろなことに首を突っ込み、人とのふれあいが増え、少し人見知りも解消され、おかげでお客様とスムーズな会話ができるようになってきたのではないかなあと、自己分析しています。

**Q. 休日の過ごし方について教えてください。**

高校時代は陸上部に所属し、800m・1500mの選手でしたので、走ることは大好きです。週末早朝6時から朝ランを体型維持のため1時間程度楽しんでいます。

いまはケガで出場を断念しておりますが、過去5回完走している下関海響マラソンで市民ランナーの目標サブ4（フルマラソン4時間切り）にリベンジしたいです（自己最高4時間02分）。調査士の先輩に先を越され、焦っています。





## 会員の作るページ

## 阿武町木与の清ヶ浜

萩支部 廣石 勝

この浜は、以前は足で踏むとキュッキュッと音を出す「鳴き砂」の砂浜として知られていたが、昭和60年頃から沢山のごみが漂着するようになり、鳴かなくなった。年間30トンものゴミが漂着するのだから、半端ではない↓

そこで、有志の方々が年数回、ビーチクリーナーと言う清掃車までも導入して浜の掃除をするようになった。極端な事だが、たばこ

の灰が砂に混ざるだけでも鳴かないそうだ。鳴き砂復活にも多くの人手と多額の費用がいるようである。近くにサーフィンに来る若者も浜の清掃を手伝っている。

鳴き砂は、砂粒に石英が多く含まれていて、砂の中にゴミが無く、砂の表面が綺麗な状態であることが必要である。その為には、波が砂を洗うことも必要なんだ。近年、全国の鳴き砂の調査も行われている。



## 事務局だより

## 会員異動状況

## 1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	ながた ひろゆき 永田 裕之 (S42.1.10)	H30.6.11	〒740-0032 岩国市尾津町一丁目13番14号	(080) 9799-1723	(0827) 31-7360

## ◆新入会員よりひとこと

永田 裕之 会員

この度、広島会（平成30年3月新規登録）から山口会（6月事務所移転登録）へ入会させて頂きました永田裕之と申します。

私は損害保険鑑定業務を永年（23年）行ってまいりましたので、この鑑定人資格（保険業界との連携）を調査士業務に活かしていきたいと考えております。

しかしながら、補助者経験ゼロでスタートしておりますので、諸先輩方のご指導を頂きながら、一步一步調査士業務を行っていきたくと思っております。

よろしくお願ひします。

ちなみに、趣味は生け花（草月流）としておりますので、興味がある方はご連絡下さい。

## 2. 会員退会状況

支部	地区	氏名	退会年月日	備考
萩	萩	浅野 貴伸	H30.8.10	退会（福岡会へ）

## 3. 事務所変更

支部	氏名	変更 年月日	変更後		
			事務所	TEL	FAX
山口	原田 英樹	H30.2.17	〒753-0214 (住居表示) 山口市大内御堀五丁目6番21-103号	-	-
下関	清水 浩二	H30.5.3	〒750-0051 下関市大坪本町24番11号	(083) 250-6252	(083) 250-6252

## 4. 土地家屋調査士法人登録事項変更

法人の名称	変更年月日	変更事項	変更内容
上原・瀬口土地家屋調査士法人	H30.6.1	社員の加入	松村 幸雄

# 会務報告

開催日	会 務	場 所
5月9日(水)	第1回境界問題相談センター認証取得準備会議	調査士会館
5月10日(木)	中国ブロック協議会役員会	調査士会館
5月11日(金)	宇部支部総会	宇 部 市
5月12日(土)	下関支部総会	下 関 市
5月14日(月)	周南支部総会	周 南 市
5月18日(金)	定時総会打合せ会	調査士会館
5月19日(土)	第71回定時総会	山 口 市
5月20日(日)	司法書士会定時総会	山 口 市
5月27日(日)	行政書士会定時総会	山 口 市
5月30日(水)	岩国市との空き家・所有者不明土地等に関する協議会	岩 国 市
5月31日(木)	第2回業務部会	調査士会館
6月5日(火)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市
6月8日(金)	社会保険労務士会定例総会	山 口 市
6月11日(月)	第2回財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館
6月12日(火)	登録証交付式	調査士会館
	県知事への要望書提出	山 口 市
6月13日(水)	境界問題相談所開設	山口地方法務局
6月16日(土)	岩国市生涯学習市民講座イカルス講師登録者講習会	岩 国 市
6月19日(火)	国土交通省中国地方整備局 担当者来訪	調査士会館
6月19・20日(火・水)	日調連第75回定時総会	東 京 都
6月25日(月)	財産管理人支援センター研修会	山 口 市
6月29・30日(金・土)	中国ブロック協議会第61回定例総会	広 島 市
6月30日(土)	京都会研修会講師派遣	京 都 市
	中国ブロック協議会役員会	調査士会館
7月2日(月)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	山口地方法務局
7月13日(金)	第3回業務部会	調査士会館
7月18日(水)	山口法律関連士業ネットワーク定期大会	山 口 市
7月24日(火)	第3回財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館
	第1回総務部会	調査士会館
7月31日(火)	全国一斉「不動産表示登記無料相談会」	調査士会館
8月1日(水)	(一社)管理権不明不動産対策公共センター理事会オブザーバー出席	山 口 市
8月3日(金)	第4回業務部会	調査士会館
8月18日(土)	兵庫会研修会講師派遣	神 戸 市
8月21日(火)	会報編集会議	調査士会館
	会則105条に基づく調査	調査士会館
	第2回常任理事会	調査士会館
8月24日(金)	公嘱協会通常総会	山 口 市
	財産管理人支援センター打合せ	調査士会館

## 西日本豪雨災害に係る義援金へ ご協力いただきありがとうございました！

この度の西日本豪雨災害で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様よりお預かりした義援金について、下記のとおりご報告いたします。

**総額 340,000円**

この義援金は、被災された山口会会員の皆様と、日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会を通じて岡山会と広島会へ送金させていただきます。

たくさんの温かいご協力をいただき誠にありがとうございました。

## 広報部より

### 編集後記

任期も早1年を切り、広報部としての事業計画の集大成の時期に入りました。

会員の皆様にご広報活動が、どのように映っているのか判断できませんが、任期中、引き続き広報部一同、会報はもとより、何かの一助になれるよう精進していきたいと存じます。

(広報部長 周原)

発行 山口県土地家屋調査士会  
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号  
電話 (083) 922-5975  
FAX (083) 925-8552  
ホームページ <http://www.chousashi.net/>  
Eメール [yamatyo@chousashi.net](mailto:yamatyo@chousashi.net)  
発行者 山口県土地家屋調査士会  
会 長 杉山 浩志  
広報担当副会長 清水 浩二  
広報部長 周原 稔  
理 事 伊藤 正典  
〃 宮崎 敏幸  
印刷所 大村印刷(株)



## 山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号  
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552  
ホームページ<http://www.chousashi.net/>  
Eメールyamatyo@chousashi.net